

教育目標

新潟市立高志中等教育学校 学校だより



志の涵養

きらめ

教育理念

自律と互敬

煌き

令和2年4月14日発行  
第56号

## 4月15日から5月10日まで臨時休校となります

本日、新潟市教育委員会より、次の通知があり、明日15日より5月10日まで臨時休校といたします。

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業について（通知）

市立学校園については、4月から児童生徒の登校を再開したところですが、高等学校や中等教育学校については、特に多くの生徒が通学に電車等の公共交通機関を利用していることから、令和2年4月8日付け新教支第79号において、時差通学や分散登校等の工夫について検討をお願いしたところです。しかし、通学時においては、集団感染リスクを軽減すること困難な状況が見られることから、万代高等学校、明鏡高等学校、高志中等教育学校においては、下記の期間臨時休業とします。

### 記

・臨時休校期間 令和2年4月15日（水）～5月10日（日）

高志中等教育学校では、通常の時程が、他の高等学校より早いことから時差通学などの措置は取りませんでした。休校にあたり、今朝、放送で、校長より説明をさせていただきました。以下、その内容について掲載しましたので、ご覧ください。

なお、対応の詳細については、現在、Classiが混雑しており、つながらない状況があることから、当校のホームページにおいて、学年ごとに課題提示を含めて、連絡することとしております。毎朝、必ずホームページをご確認いただきますようお願いいたします。

## 明日からの休校について

中国の故事成語に、「杞憂」という言葉があります。正式には「杞人憂天」といいます。

「古代中国の杞の国の人が、天が落ちてきたり地が崩れるのではないかといつも本気で心配しそのために夜も眠れなかった」という故事をもとに、「起こることのないことに対して余計な心配をすること」「取り越し苦労」という意味で使われます。

新型コロナウイルスの感染がはじまったとき、堀江貴文をはじめ、何人かの著名人は、「そんなさわぐことがない」と発言していました。いくつかの国では、経済活動などを重視し、感染拡大に対する危機感の低いリーダーの発言もありました。

今、新型コロナウイルスの感染について、「それは杞憂だ」というリーダーは、おそらく一人もいません。

日本では、安倍首相が緊急事態宣言を発出しました。それを受け、各地方自治体では、その地域の実態にあった対応が進められています。

今朝の新潟日報の一面には、「県立学校 再び休校」という大きな見出しで、再度の休校措置が報道されています。その記事の最後の方に、新潟市の対応が示されています。それは、市立の幼稚園、小中学校は継続する。市立の高等学校と中等教育学校は、明日15日から5月10日まで臨時休校とする方向で調整しているというものです。

なぜ、幼稚園、小中学校は、休校にしないのか？ それは、通園・通学手段が主に徒歩やスクールバスで、不特定多数との接触が少なく、感染リスクが低いという理由だそうです。自分の身を守る、相手の身を守る、感染リスクを下げることは、今、何より大切にされなくてはなりません。

さて、高志中等教育学校では、明日から5月10日まで臨時休校となります。

3月にも休校措置となり、みなさんには、Classiなどを活用しての在宅学習を進め、自分で学びを進める力、自己調整学習の力をつけてもらいました。

明日からの休校では、先回と違い、現在、Classiが使えない状態にあります。

先週、一時、Classiが使えないことがありました。これは、システムからの情報漏洩が発覚し、セキュリティ強化のバージョンアップによる停止でした。今回、つながらないのは、パスワード変更のお願いや、緊急事態宣言に係る臨時休校が拡大し、3月の9倍ものアクセスにより回線が対応しきれていないということだそうです。改善を進めていますが、完全に復旧する目途は立っていません。

そこで、明日からの臨時休校においては、ホームページでの指示や課題の提示を行います。毎朝、必ず高志中等教育学校のホームページを見てください。今回の臨時休校は、あくまで登下校時通学の混雑による不特定多数の方との接触を避けることが趣旨となっています。ですから、必要に応じて、学年や学級、一部の生徒に登校する指示が出ることがあります。課題の提示も、Classiが完全に復旧するまでは、ホームページから提示したり、ダウンロードしてもらったりする方法をとります。必ず、ホームページを見てください。

今回の全国的な休校措置に対して、そして、先行きが見えないコロナウイルス対応に際して、文部科学省は、4月10日に「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」という通知を出しました。

ここでは、家庭学習を進める上での留意点や望ましい在り方を説明するとともに、「指導計

画等を踏まえながら課程学友を課し、教師がその学習状況や成果を確認し、学校における学習評価に反映することができる」としています。このことは、後期課程における各学年の課程の修了又は卒業の認定等にも反映するものです。

文部科学省は、こうした通知と合わせて、「子供の学び応援サイト」を立ち上げています。ここには、幼児から高校生まで、それぞれに応じた学習に役立つコンテンツがたくさんあります。大いに活用してみてください。

「杞憂」とは「取り越し苦労」という意味だといいました。しかし、「杞憂」で一番困るのは、心配したり、不安だったりすることで、結局、何も手につかない、何もしないでおろおろしたりするということが問題なのです。

「休校が終わったらがんばる」ではだめなのです。この状況の中で、何をすべきか、何ができるかを考え、最善を尽くすことが大切です。

先生方は、毎日学校にいます。困ったことがあれば連絡してください、相談に乗ります。勉強がわからない、やり方がわからない、そんなとき、どんどん先生方に質問してください。みなさんの家庭での学習を全力でサポートしていきます。

新型コロナウイルスが世界に大きな影響を与えています。人類の危機であることは、すでに「杞憂」ではありません。現実です。世界のリーダーたちは、そのことを強く自覚しています。しかしながら、一般の人たち、特に若者の中には、危機意識が低い人たちがいることも大きな問題となっています。

未来のグローバルリーダーを育てる高志中等教育学校の生徒であるみなさんは、そうした危機感と見通しと、今と未来をつなぐ確かな想像力をもって、この危機に望んでください。危機的状況における休校措置の中で、みなさん一人一人が、確かな学びを重ね、より大きくたくましく、自立した学習者として成長することを期待しています。

#### <参考>

- ・Classiトラブルについての説明とお詫び <https://corp.classi.jp/news/1926/>
- ・文部科学省通知「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について（通知）」  
[https://www.mext.go.jp/content/20200410-mxt\\_kouhou01-000004520\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200410-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf)
- ・文部科学省「子供の学び応援サイト」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)

< この件の問合せ先 >  
新潟市高志中等教育学校  
教頭 武田統理 玉井博史  
025-286-9811